

令和7年度一般選抜入試「国語」出題意図について

一般選抜では、古文・漢文を除く「現代の国語」と「思考力等を問う記述式問題」を出題します。

「現代の国語」では、論説文や評論などの論理的な文章を中心に出题します。(AP1・AP2)。
なお、いずれの問題にも、基礎的な日本語能力を測定する目的で、漢字の読み書きや語句の意味理解に関する設問を含めています。

「思考力等を問う記述式問題」では、文章全体の論理的構成を踏まえ、その内容を的確に理解し、多角的な視点から考察できているかを確認します (AP1・AP2)。
また、文章全体の流れの中で筆者の思いや心情を的確に捉え、それを自分の言葉で表現できているかを重視します (AP2・AP5)。

一般選抜の出題は、主として以下のアドミッション・ポリシーに基づいて作成しています。

AP1：本学の教育内容を理解し、入学後の学修に必要な基礎学力を備えている。

AP2：自分の考えをもち、物事を多面的に考察することができる。

AP5：他者の考えを受けとめ、自分の考えを自分の言葉で表現することができる。